



曽於市議会だより

第39号

平成27年2月発行



タスキをつないで (P22 参照)

12月定例会

平成25年度決算認定	2
市政を問う	6
委員会報告	18

3月定例会の予定

2月19日	開 会
2月23～25日	一般質問
3月25日	閉 会

発行：鹿児島県曽於市議会 編集：議会広報等調査特別委員会

〒899-8692 鹿児島県曽於市末吉町二之方1980 TEL 0986 - 76 - 8816 FAX 0986 - 76 - 8901

今後に生かせ!

あたりの 借金

283,000円
797,000円

110億2,386万円
310億6,672万円
平成26年3月末現在の
した額
を含む)

平成26年9月12日提案された平成25年度一般会計・国民健康保険特別会計など6会計の決算は各常任委員会に付託され、慎重に審査を行いました。

審査の結果、10月14日本会議において報告され、それぞれ認定しました。

また、12月定例会は、12月3日から開会し、12月22日までの20日間の日程で開かれました。

定例会は、平成26年度予算の補正に関するものの他、議案14件、報告3件、承認1件、発議1件、陳情1件などを審議・議決しました。

25年度主な決算質疑

総務常任委員会

コミュニティFM開設はいつか

問 コミュニティFM放送局の実施設計委託料として、498万8千円を支出しているが、平成26年度から財部地区についてはコミュニティFMを開設していくと説明がありながら、予算化もされていない。平成27年度は本当に予算措置できるのか。

文教厚生常任委員会

学力向上対策の課題は

問 学力向上対策における課題は何か。

クリーンセンターの 早急な対応を

問 クリーンセンターは建設から18年経過し老朽化が著しく改修・改善の時期にきている。早急な対策が望まれるが、一般廃棄物処理施設整備検討委員会ではどのような協議がなされたのか。

答 当初予算の時までには事業計画書等を作成し、平成27年度からの事業に着手したい。

答 現在まで4回の会合を行い、施設の現状や課題について

てや、他自治体の現地研修を行った。対策については、都市を含めた近隣の自治体にも願うことも視野に入れ、クリーンセンターの大規模改修を行い、施設の延命化を図っていくことなど検討が行われた。

答 ① 中学統合による教科担当教職員の配置が教育効果に十分に現れていない。
② 夢を持っている中学生が少ない。
③ 家庭学習の時間が絶対的に少ない。

今後、これらの課題解決に向けて取り組んでいきたい。

問 スクールソーシャルワーカーの相談時間数が増えた要因は。

決算をチエック!!

平成25年度 歳出総額351億円

平成25年度 会計別決算状況

(千円以下切り捨て)

会計名		歳入決算額	歳出決算額
一般会計		234億 1,966万円	227億 9,379万円
特別会計	国民健康保険	64億 4,281万円	61億 7,857万円
	後期高齢者医療	5億 858万円	5億 672万円
	介護保険	49億 7,436万円	47億 4,979万円
	公共下水道事業	2億 3,100万円	2億 2,202万円
	生活排水処理事業	1億 251万円	1億 71万円
水道事業	(収益的)	5億 5,758万円	4億 5,095万円
	(資本的)	0万円	1億 9,590万円
合計		362億 3,650万円	351億 9,845万円

※水道事業（資本的）の歳入は過年度内部留保資金で補てんしました。

市民一人 貯金と

貯金と 借金

基金（貯金）総額
市債（借金）総額

※一人あたりの金額は、
人口38,964人で除
（一般会計と特別会計

建設経済常任委員会

農地転用は

問 農地転用においてソーラー発電に関する転用がどれほどあるのか。

答 平成25年度は農地法第4条関係の許可は5件で8014㎡、農地法第5条関係の許可は23件で1万1600㎡であった。転用については2・3種農地についての転用は可能だが、10ha以上の広がりのある農地や、土地改良事業で基盤整備がなされた土地についての転用はほとんど認められない。

答 子育て放棄等、家庭に問題を抱える児童・生徒の増加に伴い、保護者との面接時間が増えたためである。

問 学校旗の更新について、今後の取り組みは。

答 損傷の著しいもの、旧町名表示のものを優先的に更新していく予定である。

地域振興住宅の効果は

問 地域振興住宅建設事業について、建設用地として購入した土地は、あとどれほど建設が可能と見込んでいますか。

答 今後、建設可能な用地は大隅町の菅牟田1棟分、八合原4棟分、笠木2棟分、末吉町は見地に1棟分、諏訪1棟分、財部は大川原1棟分がある。

問 平成25年度は27棟を建築したが、その効果は。

答 27棟を建築したことから、27世帯、90人増（児童・生徒8人、未就学児32人を含む）となった。



平成 25 年度予算は こんな事業に使われました

主な事業

福祉サービス

○市民・事業者・行政が協働して支えながら展開していきます

介護基盤緊急整備特別対策事業
1 億 6,700 万円



農業基盤整備

○水の安定供給により、営農の改善を図り農家の所得向上が期待されます

国営北部畑かん事業（市負担金）
15 億 1,000 万円



教育環境の充実

○生徒が安心して学校生活を送れるよう教育環境を整備しました

財部中学校体育館等整備事業
3 億 9,000 万円



人口増対策

○定住促進と地域活性化のため、それぞれ希望地区に 27 棟建築しました

地域振興住宅建設事業
3 億 7,000 万円



12月定例会

予算

☆平成26年度曾於市一般会計予算の補正について

(全会一致 可決)

今回の補正は歳入については、国庫負担金の自立支援医療給付費負担金を1002万円、児童手当国庫負担金を1519万9千円、思いやりふるさと寄附金を1億円、財政調整基金からの繰入金を2億1471万6千円追加するものが主なものです。

歳出については、総務基金管理費を1億1712万円、定住促進対策事業費を675万円、生活保護費の国庫還付金を6304万4千円、活動火山周辺地域防災営農対策事業を903万2千円、曾於のうまいもんPR事業を5236万5千円、現年発生公共土木施設災害復旧費を624万円追加するものが主なものです。また、人事院勧告に伴う

給与改定等により、議員期末手当や職員給等を2973万8千円追加しています。

条例

☆曾於市職員の諸給与に関する条例の改正について

(全会一致 可決)

平成26年人事院勧告に伴い、一般職職員の給料月額、通勤手当、勤勉手当等の額を改正するものです。

☆曾於市特別職の職員の給与に関する条例等の改正について

(賛成多数 可決)

平成26年人事院勧告に伴い、市長、副市長、教育長及び議会議員の期末手当の支給月数を改正するものです。

☆曾於市国民健康保険条例の改正について

産科医療補償制度の見直しにより、曾於市国民健康保険出産育児一時金の金額を改定することに伴い条例

を改正するものです。

指定管理者の指定

☆財部温泉健康センター

(全会一致 可決)

(株)メセナ末吉

指定管理期間3年

(平成27年4月1日～平成30年3月31日)

平成22年度から指定管理を行ってきました(株)総合人材センターの指定管理が満了するため、新たに非公募により指定管理者に指定するものです。



その他

☆都城救急医療センター利用協定書の変更に係る協議について



都城市郡医師会病院の新築移転に伴い、センターの運用については従来と変更はないもの、夜間の救急、急病のための施設であり、名称を「夜間急病センター」に変更したところでありあります。
※都城市大岩田町から太郎坊町へ4月移転予定。

意見書

☆「JA自己改革」に関する意見書

(全会一致 可決)

政府は、「農協・農業委員会等に関する改革の推進について」において、JAが農業者の所得向上と地域サービスの向上への役割発揮を図るため、農協改革の推進を決定し、「中央会の新たな制度への移行」や「連合会の事業・組織形態」、「JAの事業やガバナンスのあり方」などについて、「JAグループでの討議を踏まえて結論を出していく」とされ、来年の通常国会へ関連法案の提出を目指すと言われています。

JAグループはこのため、これらの課題に対する自己改革の検討を進め、各段階の組織討議を踏まえ、「自己改革」を決定しました。

したがって、関連法案の策定にあたりJAグループの「自己改革」を尊重の上、協同組合として十分な役割が發揮できるように求めるものです。

提出

内閣総理大臣外、関係機関

一般質問
12 議員登壇

市政を問う



グラウンドゴルフ場建設予定地(新地公園)

市長 市民プールのとなり平成27年から28年度に建設したい。

問 最初にグラウンドゴルフ場の場所について聞きたい。



徳峰 一成議員

パークゴルフを問う

市長／現段階では白紙の状態である

問 次に、パークゴルフ場について聞きたい。

市長 建設するかしないか、今後検討したい。

問 現段階では、未定白紙と受け止めてよいか。

市長 現段階では白紙である。

臨時職員の待遇改善を

問 月14日勤務の臨時職員は70人である。手取り7万円そこそこでは生活できない。月20日勤務のものとの状態に戻すべきだ。

市長 ハローワークを通して、月14日勤務を条件に働いていただいでい

る経過がある。

問 14日勤務は、行政の施策としては根本的に間違っているのではないか。

次に日給5500円も引き上げを求めたい。

市長 引き上げは考えていない。通勤手当を引き上げたい。

高齢者向けの食料品の宅配サービスを

問 高齢者向けの宅配サービスは市の積極的な支援が大事だと痛感している。新年度からの実施を、強く要求したい。

市長 新年度からの実施に向けて、市内3つある道の駅を利用して宅配サービスを進めたい。看護師の方が、高齢者の見守り対策をかねて宅配できるよう検討している。

地域振興住宅を補う 少子化対策を

問 旧末吉町の活性化住宅を含むこれらの住宅には、現在154人の乳幼児、80人の小中学生が住んでおり、少子化対策で大きな意義と役割がある。ところが、市は本年度から、厳しい財政を理由に年間10戸建設に減らす方針である。これを補う、目に見える対策を聞きたい。

市長 宅地分譲、住宅建設の補助等を考えている。

問 あらたな対策の効果が出るまで、地域振興住宅はいつきに減らさず、弾力的、段階的に減らすべきではないか。

市長 きびしい財政の中で、それはむずかしい。

市道にかかる雑木の 高所伐採を

問 この間の取り組み



急がれる高所伐採

は市民から大変喜ばれている。ただ年間600万円程度の予算は少なく来年度から1千万円以上に増額を要求したい。

市長 予算増額をした

生活できる
賃金体系が大事

ちょっと
ひとりごと

財部南中跡地の 新たな企業誘地は

市長／誘地活動を精力的に進める



泊ヶ山正文議員

られないか。

問 小規模校区活性化のため財部南中跡地の企業誘地を早急に考え

市長 財部南中跡地に誘地した財部コールセンターの閉鎖を受け企業誘致活動を行っているが、誘致に至っていない。今後、精力的に進める。



早急な企業誘致を

問 要望の強い地域振興住宅の拡大はできないか。

市長 地域の人口増加対策及び活性化対策として確実な振興策であるが、多額な予算を必要とするため今後10戸以内の建設を考えている。

問 鳥獣被害対策を強力にできないか。

市長 新年度から駆除費の増額、電気柵の設置補助拡充を考えている。

問 片蓋・柿木線の早期改良を。

市長 幅員も狭く急カーブも多いことから、財源等について検討し、総合振興計画に計上し、財政状況を勘案し整備することになると考えている。

産業観光について

問 産業観光についてどのように認識しているか。

市長 本市の一次産業と観光の関係という観点から、曾於市最大の産業である農畜産業を豊かな自然の中で体験していただき、交流人口の増に努めていく。

問 県外修学旅行が体験型旅行へ要望が高まっている。曾於市の受け入れ状況は。

経済課長 曾於市グリーツーツーリズム協議会が修学旅行生の農業体験受け入れを平成24年度より実施している。

24年度が1校で36名、25年度が1校35名、26年度が2校64名と、いずれも関西地区の修学旅行生である。



曾於市へようこそ体験ツアー

問 農畜産業の産業観光の現状と、今後の方向性は。

市長 市の主催による産業観光は取り組んでいないが、観光特産開発センター主催の農産物収穫体験ツアーは実施している。

今後、曾於市最大の産業である農畜産業を、豊かな自然の中で体験していただき関係団体と連携し交流人口増に努めていく。

農村部に力強い光が
ほしいなあ

ちょっと
ひとりごと

今後、一層厳しい 財政状況であるが

市長／さらなる行財政改革に取り組み



迫 杉雄議員

問 平成26年度から平成35年度の市財政計画について、特例交付されている地方交付税を鑑み基金等の半減に対して、見解を伺いたい。

市長 財政計画の見直しについては、地方交付税の減と扶助費等の今後の財政需要の増加に対して、不足する分を普通建設事業の削減により財政計画を策定している。

30億円以下が望ましい。平成35年度末基金残高は52億8千600万円となるが、さらなる積み増しが必要である。

文化財保存管理は

問 文化財の全般的な保存管理の状況と、今後はどのような対応が考えられるか。

教育長 屋外の文化財においては、標柱、案内看板及び清掃などの環境整備を実施し、内部所蔵品は定期的な燻蒸を実施し、古文書については破損による滅失などを防ぐため、計画的デジタルデータ化を進めている。

問 旧3町で対応されている歴史民俗資料館等（古民具、古文書）について今後、なお一層対応が必要であるか。

教育長 今後は展示などについて、計画的に展示品を入れ替えるなどその活用のある方を工夫する必要がある。

問 合併10年を経過するが、一ヶ所に収集して市民が目にする事への議論や計画はないのか。

教育長 旧町の3館の収蔵物を一ヶ所に集めることについては、現在のところ計画はないが、今後どのような方法があるか検討していきたい。

市長 展示室の容積、空調管理の必要な収蔵室の容積から現存の3館ではいずれも対応しきれない。今後、慎重に検討する。



集約展示が望まれる歴史民俗資料館

来年は、第30回国民文化祭 inかごしま、文化に目を向けるべきだ
ちょっと
ひとりごと

人口増施策は

市長／プロジェクトチームを設置し検討を進める



伊地知厚仁議員

問 人口増をめざし地域活性化を推進する市



定住効果がある地域振興住宅

長の基本方針はどのよう
に考え対策を講じた
か。

市長 人工増対策、少
子高齢化対策はもつと
も優先する政策課題だ
と認識している。これ

まで、地域振興住宅の
提供、住宅取得祝い金
の交付、分譲地の販
売、18歳までの医療費
助成、保育料等の助
成、第3子祝い金等で
対策を講じている。

問 人口減少に対する
新たな施策は。

市長 今後、本市でも
人口減少対策に対して
プロジェクトチームを
設置し検討を進める。
また、住宅取得祝い金
の増額を現在検討して
いる。

問 本市外に住宅を置
いている市職員・教職
員を、市内に居住させ
る取り組みはできない
か。

市長 職員には庁議等
で市内へ転居をお願い
している。また、職員
採用試験では、受験資
格に「原則として本市
に居住できる者」と掲
載している。

教育長 教職員283
名中105名が市内に
居住し、178名が市
外より通勤している。

教育委員会としても校
区内、市内居住を積極
的に指導し、校区内
市内居住のもつ意義を
十分理解してもらい、
その実現に努める。

市職員・教職員の 健康管理は

問 市職員・教職員の
健康問題を抱える職員
への対応は。

市長 本年度から精神
的（メンタルヘルス）
については、24時間対
応の相談窓口を設置
し、カウンセリングを
行っている。

教育長 定期健診や人
間ドックを通じて早期
発見に努めるほか、メ
ンタルヘルス相談も行
ない職場環境づくりに
努めている。

問 健康推進事業（予

保存版

そおし健康安心電話

24時間 年中無休 / 通話料・相談料無料 平成26年6月1日より

📞 携帯電話からも使用可能です。

赤ちゃんが夜中に
熱を出した。
どうしよう？

病気のことでひどく
悩んでしまう時

24時間年中無休
0120-177-282

不意のケガの応急手当て、
どうすればいいの？

夜間・休日の
医療機関のご案内

医師・保健師・看護士などの相談スタッフが24時間・年中無休体制でご相談に応じ、わかりやすくアドバイスいたします。

気になる身体症状

けがの応急処置方法

医療機関情報等のご提供

●いつでもどこからでも、曾於市にお住まいの住者が無料（フリーダイヤル）でご相談できます。

📞 **0120-177-282** 長途指定料不可

ご利用方法 電話がつながりましたら、お名前・年齢を告げてください。ご相談内容に応じてアドバイスいたします。

※本サービスは、テレホンカード（残）が業務委託を受けて運営しております。

※利用者の状況またはご相談内容により、相談の制限・停止をさせていただく場合がございます。

※当該提供の医療機関情報等に準じて電話受付とする際は、ご利用した機関が営業されている場合がございますので、事前に医療機関などにご確認ください。

曾於市
担当課：保健課
0986-76-8806

県内初の電話による健康相談サービスを開始

学校に子どもたちが増える
夢のような
施策はないかな？

ちょっと
ひとりごと

れている予防接種は、
個別に通知をしている。

⑨ 曾於市議会だより No. 39 H27年2月発行

全小学校の 通学バス運行は

市長／いろいろな方面で協議してゆく



八木 秋博議員

問 少子化対策としての地域振興住宅の結果は評価されるものであ
るが今後の展開は。

市長 確実な人口増、少子化対策ではあるが、反面、多額の費用を要し財政的に無理を生じているため、縮小の方向で考え、それに変わる他の方策を検討している。



通学バスで安全に登校（財部小）

問 文科省による学校統廃合指針における曾於市の小学校についての対応をどう考えるか。

市長 「通学距離や通学時間等、児童・生徒の安全やその影響を十分検討し配慮すること。また、地域住民の理解と協力を得るよう努めること。」となっており、指針に対しては、基本的には地域住民の合意が大前提と考
えている。

問 現在一部の地域で運行している小学校の通学バスを全域に拡大することは。

市長 現在、財部地域で運行している小学校の通学バスをさらに末吉、大隅地域まで拡大することは現在のところ考えていない。

問 思いやりバス・タクシーや中学生通学バス等と連携を図れないか。

市長 今後色々な方面で協議し検討していく。

岩川芙蓉基地跡の活用について

問 岩川海軍航空隊基地及び芙蓉之塔をいかに認識しているか。

市長 太平洋戦争末期、秘密基地として特攻作戦を拒否し夜襲戦法に徹した「芙蓉部隊」基地跡であり、戦後、部隊生
存者、遺族大隅町有志等で隊員の顕彰と慰霊のため、芙蓉之塔を建立され毎年、戦没者追悼式が執り行われている。

問 追悼式の経費等は設立当初の寄附金の浄財で賄っているが、保存会である元隊員もほとんど亡くなり基金も枯渇寸前である。市をあげて取り組み
できないか。

市長 関係者の皆様のご苦勞に対し心から敬



芙蓉之塔（八合原）

意と感謝を捧げるものである。
芙蓉の塔は芙蓉部隊の顕彰と慰霊を後世に伝える象徴であり、前向きに取り組んでいく。

員の遺品や基地に関する資料等お預かりし、展示場所の充実を図ることが賢明である。

問 教育的見地、また観光資源として記念館設立は考えられないか。

市長 幻の戦闘部隊芙蓉部隊が岩川の地にあったことは極めて貴重な事実である。現在部隊に関する写真等は市の埋蔵文化財センターの一角にある。今は元隊

辺地通学バスは過疎対策の最たるもので「地方創生」では？

ちょっと
ひとりごと

深川駐在所跡地を 見守り隊立ち寄り所へ

市長／現在検討中である



九日 克典議員

問 深川駐在所の跡地
利活用についてどのよ
うに考えているか。

問 子ども見守り隊の

市長 建物は県警と無償譲渡について協議をおこなっている。官舎は市有住宅としての利用、駐在所については構造的に住宅としての利用が難しい。



出発前の見守り隊

活動の拠点として利用できないか。

市長 地域住民より防犯ボランティア団体の立ち寄り所としての利用を望む声があり、現在検討中である。

学校の環境整備は

問 電子黒板の活用状況は充分か。

教育長 実態調査では85%の教職員が「授業中に活用して指導することができ。」とあり、教科間の活用度合いの偏りも特に見られない。活用がさらに進みつつある。今後、学力向上により一層結びつくよう効果的な活用方法を検討する。

問 校庭等が広大である小規模校では、管理者に大きな負担ではないか。

教育長 小学校20校中16校で複式学級を有し

ている。PTA戸数も減少し、環境整備のすべてを賄うことは難しく大きな負担となっている。

問 シルバー等に管理依頼等はできないか。

教育長 PTAの準会員制度を活用して校区の方による奉仕作業で対応しているところもある。学校に無理な負担がかからないよう努力する。

定住促進対策は

問 地域振興住宅を今後どのように取り組まれる考えか。

市長 一般財源充当のため多額な費用が負担となるため、継続が困難となる。今後は縮小の方向であり、それにかわる他の方策について検討する。

問 払い下げが可能と聞くが内容を伺う。



学校の落葉樹

市長 財源は過疎債や国庫補助金を活用し整備している。借り入れ償還が終了し、施設処分可能となる年数が到来したら財務省と協議後、土地や建物の評価を適正に行い払い下げする。

問 市内に分譲地計画はないか。

市長 通勤・通学に便利な所、買い物等に便利な所、分譲価格の安い場所を地元の協力・理解を得ながら整備・計画していく。

安全で快適な暮らしができる
地域で暮らすことの喜びが
「しあわせ」の根源だ

ちょっと
ひとりごと

学力向上へ 土曜授業再開か

教育長／毎月1回第2土曜日の計画で
ある



土屋 健一議員

はどの程度進んでいるのか。

問 土曜授業再開の背景に何かあるのか。
県教育委員会の指導

教育長 今まで土曜授業はなかったが、共働きの増加、少子化等社会情勢の変化の中で週5日制授業の目的とかけ離れ土曜日を無為に



真剣なまなざしで理科実験

過ぎてしている実態が問題視されるようになった。25年9月文科省の検討チームのまとめを受けて同年11月国によって学校教育法施行規則が改正され、それを背景に鹿児島県が条件整備を進め、26年10月県の定例教育委員会に説明がなされ、正式に12月3日市町村教委に通知され、発表となった。説明会等は今後なされる。

問 どのような方法で実施されるのか。
関係者への説明は。

教育長 月1回第2土曜日、半日単位の見込みである。学校管理規則の改正、その他検討課題は多い。説明会は方針が固まり次第実施する。

問 スクールバスの調整と学校給食の要否は。

教育長 現在、部活動のために中学校のスクールバスは土曜運行も実施しているので問題は無い。午前中に授業は終わるので給食は必要ないと考えている。学童保育の17施設との連携も強化したい。

不登校児童生徒の対策は万全か

問 現在どのような対策をとっているのか。
効果は。

教育長 スクールカウンセラー2名、心の教育相談員3名を配置して相談活動の充実に努めている。スクールソーシャルワーカーは現在1名であるが福祉と連携して解決に取り組んでいる。
23年度40名の対象児童生徒数であったが25年度は32名に、26年度は20名まで減少している。

問 他の市と比べて対象児童生徒は多くないか。
対策方法は劣っていないか。

教育長 少ないとは言えない。相談活動の充実に努め予防に主眼を置いた取り組みを進める。学校に登校できない児童生徒のために適応指導教室の開設について検討を進めている。



今日も元気に登校（末吉中）

子どもは国の宝

ちょっと
ひとりごと

クリーンセンターの 運営状況は

市長／今後、大規模改修工事を行う予定
である



今鶴 治 信議員

が経過しており老朽化が著しく検討委員会は、クリーンセンターの大規模改修による延命化を図るとあったがその計画内容は。

問 9月議会の総務委員長報告にクリーンセンターは、建設後18年

市長 5回の検討委員会を開きクリーンセン



ごみ分別作業中（クリーンセンター）

ターの現状と課題の対策について協議し、7億8360万円かけて平成27・28年に計画を立て、その後3年かけて長寿命化のため大規模改修工事を行う予定である。

問 クリーンセンターは、合併前の旧末吉町時代に建設されたが、ゴミ焼却の処理能力は大丈夫なのか。

市民課長 旧末吉町時代は週3回で年間3400トン焼却していたが、平成25年度は週5回で5400トン、1日当たり22・5トン焼却している。稼働率は110%である。延命化のためには70%くらいの稼働率がいいとされている。

パークゴルフ場・
フラワーパーク計画
予定地跡地利用は

問 木材業者の誘致の予定だと聞いているがいつ頃になるのか。

市長 企業誘致については、国・県の支援をお願いしているが、詳細については、今のところ未定である。

問 国の「力強い木材産業づくり事業」は平成26年度で終了するが、この事業による企業誘致は可能か。

市長 事業の延長を国に要望中である。

都城北諸県地区清掃
公社は

問 事件の内容は。

市長 平成23年1月に新燃岳の噴火により都市に大量に降った降灰の収集・運搬の業務委託の水増し請求によ



大変な降灰除去作業

り多額の処理料をだまし取った詐欺事件である。

問 悪質な企業に対して厳格に一定のペナルティを科すべきではないか。

市長 曾於市指名競争入札参加資格及び指名基準に関する要綱により契約を続行することに問題はない。

ゴミの減量化は市民
一人ひとりの協力で

ちょっと
ひとりごと

フラワーパーク 予定地の跡地利用は

市長／グラウンドゴルフ場建設は考えていない



市合 昌昭議員

問 胡摩地区の地権者から土地を購入して1年が過ぎようとして

いるが成果が見られたか。

市長 胡摩地区へのパークゴルフ場・フラワーパーク等整備計画については白紙にしたところである。これを受けて、市民からなる検討委員会



文化財発掘作業中の胡摩地区

を設置し、協議をかきねた。最終的には市長判断として企業誘致に努めていくことを決め、現在に至っている。

問 市長が企業誘致をしようとしている外山木材との協議内容は。

市長 外山木材の進出については、事業計画・事業費計画等の協議を行っている。立地の際の国・県からの支援を要請している。

問 企業誘致ではなくグラウンドゴルフ場にする考えはないか。

市長 市内には多くのグラウンドゴルフ愛好家がいる。グラウンドゴルフ場の整備については、フラワーパーク跡地へは考えていない。

問 集落で手軽にできるグラウンドゴルフ場を作る考えはないか。

市長 市内には集落の空き地等利用され、グラウンドゴルフ場として地域が主体となり整備から活用まで行っているところもある。

今までどおり集落で整備していただきたいと思うが、今後、検討していきたい。

問 市が計画しているグラウンドゴルフ場は。

市長 練習場、公認コースとして、大会等を開催することを視野にいれたものである。

曾於医師会立病院の存続について

問 曾於医師会立病院の存続は。

市長 曾於医師会立病院は昭和59年3月に10科で開院した。その後30年が経過しているため施設の老朽化が進み、医師の数が減少し診療科も減っている。地域医療が提供されるように



充実強化が望まれる曾於医師会立病院

存続に向けて取り組んでいきたい。

問 市長は曾於地区の首長と存続について話し合いをしたか。

市長 地域医療のあり方について医師会立病院と有明病院等の統合に関する件について話し合いを進めている。

問 岩川高校の跡地を利用する考えはないか。

市長 医師会を含めた2市1町での協議が必要であり、現在のところは岩川高校の跡地利用は考えていない。

高度な地域医療に期待される
曾於医師会立病院

ちょっと
ひとりごと

胡摩地区の企業誘致は

市長／この事業ができない場合は白紙になる



岩水 豊議員

問 企業誘致の現状は、活用したい国・県の補助事業の内容について示せ。

市長 外山木材の誘致



文化財発掘調査中の胡摩地区

流末排水工事は、市でするのか。

市長 林地開発・農地転用の申請と造成工事は誘致企業側がする予定である。

流末排水工事は市でする予定であるが、まだ検討していない。

問 用地活用の段階で流末対策を検討することは、基本中の基本ではないか。

市長 重要なこととは認識しているが、補助事業が確定してから検討していく。現在の段階では提示できない。

問 用地買収時にはパークゴルフ場・フラワーパーク等整備事業のための用地として契約されたが、現在進めている企業誘致は契約違反になるのではないか。

市長 計画変更の了解を地権者に取らなかつ

たことは、誤りがあつたと反省している。

問 契約違反に当たるので、全地権者の承諾を早急に取る必要があり、企業誘致もできなくなる可能性があるのではないか。

市長 全地権者に説明し了解を得るようにする。

問 用地活用（企業誘致）計画・プランをたて、コンプライアンス（法令遵守）に照らしあわせて、進めるべきと考えるか。

市長 今後、慎重に進めていく。

問 豚流行性下痢（PED）等の対策は

曾於市の対応は。

畜産課長 県地域重要疾病防疫体制確立事業による動力噴霧器購入事業や、消毒薬の配布



大隅町 PED 消毒ポイント

をしている。また、非常用の消毒薬の予備を準備している。

（年3月）に行政改革大綱が発表されているが見直しが必要ではないか。

市長 早めの見直しをしたい。

平成26年度曾於市財政計画について

問 財政計画発表に、既存事業の聖域無き見直しを図ると記載されているが、具体策は示せるか。

市長 今後、あらゆる事業を精査していきたい。

問 合併当時（平成18

胡摩地区の土地を売られた方は、契約書をもう一度、見てみましょう。

ちょっとひとりごと

事故多発現場に 道路標識を

市長／警察に再度強く要請したい



宮迫 勝議員

問 曾於・肝付ブロックに交通事故多発警報が発せられた。市長の認識を伺いたい。

市長 きわめて憂慮す

べき状況である。警察署、交通安全協会、地元等と連携し、事故防止の対策を講じていきたい。

問 財部町の養原新田の田んぼの中の道路で事故が多発している。

大きな事故が起きないうちに対策を取るべきだと思いがどうか。



気をつけよう交差点

市長 優先道路、一旦停止の標識等については、警察と協議したい。

標識については現場が見通しがよい場所なので警察は難色を示しているが、再度強く要請したい。消えなかった道路のライン等は調査して作業させる。

グラウンドゴルフ・パークゴルフ場は

問 グラウンドゴルフ場の構想はどうなっているのか。

市長 約2haの敷地に約1.5ha芝生広場を設け、3コースの公認コースとした。

その他トイレや休憩所、用具庫等、排水路、園路、駐車場、給水施設や照明施設等の設置を考えている。

問 3つのコースに分けるより、大きな1面の方が使いやすいのではないか。

市長 十分検討したい。

問 設計段階からグラウンドゴルフ協会等の意見を聞いて、納得のいくコースにして行くべきだと思いが。

市長 楽しみやすいコースにするために、関係者の意見を聞いて、設計に活かしたい。

問 パークゴルフ場の基本的な考えを伺いたい。

市長 造る造らないを含めて検討したい。今の段階は白紙である。

少年の主張大会は

問 「少年の主張大会」は10人の熱弁で大変感動した。もともと多くの人にこの感動を味わってほしいが、何か取り組みはできないか。

教育長 発表を聞きながら涙する家族もいた。今後さらに工夫したい。



熱弁の「少年の主張大会」

スポーツ選手の応援は

問 曾於市出身のスポーツ選手が活躍して、感動と元気をもらっている。所見を伺いたい。

市長 後に続く児童生徒にやる気を起こさせ、大人は元気をもらっている。

問 その頑張っている子どもたちの全国大会等への出場に対して、垂れ幕等の応援・支援はできないか。

市長 立てる場所も含めて総合的に考えたい。

頑張っている子ども達を
みんなで応援しよう。

ちょっと
ひとりごと

曾於市の人口動態は

市長／人口増へのプロジェクトチームを検討したい



坂口 幸夫議員

問 合併時、現時点の市全体の人口、旧3ヶ町ごとの人口をそれぞれ示せ。

曾於市の人口推移 (単位：人)

	17年7月	26年11月
財部	10,688	9,084
末吉	20,330	18,775
大隅	13,050	11,001
曾於市	44,068	38,860

市長 合併時から、平成26年11月末現在の人口は左記のとおりである。

問 合併時に比べて現時点で人口の減は、市全体旧3ヶ町ごとどのような数値になるのか。

市長 平成26年11月30日現在では、曾於市全体では、5208人の減少で11.8%の減、旧町ごとでは、末吉町が1555人の減少で7.6%の減、大隅町が2049人の減少で15.7%の減、財部町が1604人の減少で15%の減となっている。

問 市長は人口減の歯止め策をどのように取り組む考えか示せ。

市長 今後、人口減少を少しでも食い止めるためにプロジェクトチームの設置を検討したい。

県有地の有効活用についての市長の考えは

問 岩川高校跡地の活用については、広大な敷地、弥五郎インターまで車で5分の利便性等を考慮し、市長がリーダーシップを強力に発揮し、岩川市街地

の活性化のため、さらに努力してほしいと思うが市長の考えは。

市長 岩川高校の広大な敷地は、その周辺部を、県道、市道が走るなど利便性も高く、また、静寂な周辺環境など立地条件にもたいへん恵まれている。閉校後の有効活用が岩川市街地及び曾於市の活性化にたいへん重要だと認識しており、今後、議会や市民の皆さんのご意見を伺いながら迅速に取り組んでいく。

曾於市のPR看板設置は

問 市のPRを兼ねたインパクトの強い看板を幹線道路の市境界地に設置する考えは。

市長 市をPRする看板設置は、重要なことである。今後、内部で検討しインパクトのある看板設置に取り組んでいく。

教育行政について

問 市内3中学校の柔道部、剣道部は輝かしい伝統と実績があるが、生徒数の減少が進む中、部活動の継続に不安はないか。

教育長 生徒数の減少により現在の部活動をそのまま維持することは多くの困難が伴うと考える。

部活動の存続のためには、武道のよさや、魅力を子ども達や、保護者に広く理解しても



設置増が望まれるPR看板

らうことが重要である。今後、積極的に優秀な外部指導者を活用するなど、柔道部、剣道部の存続と発展に努める。

平成27年が市民の皆様にとって素晴らしい一年でありますように

ちょっとひとりごと

委 員 会 報 告

- 総務常任委員会
- 文教厚生常任委員会
- 建設経済常任委員会

各常任委員会では、12月定例会で付託になった議案・陳情について審査を行いました。

総務常任委員会

(海野隆平委員長)

所管事務調査

○秋田県雄勝郡羽後町

(調査事項)

定住支援について

羽後町は昭和30年に1町6ヶ村が合併。少子高齢化等により現在1万6400人となり、人口減対策として平成18年3月に定住促進条例を制定し、「移住」「定住」「支援」と3つの施策を展開、ユニークな取り組みとして、オール電化の定住体験住宅を建築しており、併せて世話係としてのサポート団体も設立されていた。

○秋田県横手市

(調査事項)

コミュニケーションFM開局までの取り組みについて

横手市は平成26年現在人口9万6244人と秋田県で第2の人口規模である。開局までの経緯は、横手商工会



横手市にて研修

議所を中心に、平成20年9月にFM検討特別チームを設置、76社から2070万円の出資を得て、平成23年4月より横手かまくらFMが開局されている。市の行政情報は1日3回約10分間の放送で、緊急放送については、「緊急放送に関する協定」を結び、ラジオ局や市による割込み放送ができるようになっていた。

第24回全国消防操法大会

○東京臨海広域防災公園 (調査事項)

大隅南分団は、小型ポンプ車の部で優れた操法技術を披露し、タイム41・34秒、総合得点83点となり全国24消防団中12位の成績でした。1位は岡山市消防団であった。

☆宮崎県都城市との定住自立圏の形成に関する変更協定の締結

都城市・三股町・志布志市・曾於市の4つのまちが連携し、安心して暮らせる圏域に必要な都市機能、生活機能を確保することを目的に平成21年10月に協定書を締結しており、今回の変更協定の内容は、「防災及び消防」「移住の促進」「地域公共交通」を追加するものである。

意見 環境分野の水資源の問題、生活対策としてゴミ処理の問題が見落とされており、協定書の中に盛り込まれ

るよう、今後協議を進めてほしいとの意見があった。

☆平成26年度曾於市一般会計予算の補正(所管分)

問 ふるさと寄附金の補正の内容は。

答 思いやりふるさと寄附金は非常に好評であり、6月と9月に補正したが足らず、今回1億円を追加補正した。

問 総務管理事務費の補正内容は。

答 税務署からの自己点検調査があり本来徴収しなければならぬ税金を認識不足のために10課で83件の870万7632円の源泉所得税の漏れがあった。それに伴い、徴収漏れによる不納付加算税39万5500円と延滞税34万3200円を計上している。対象業者は4業者である。

問 総務管理費(広報費)59万4000円の内訳は。

答 来年7月で合併10周年を迎えるため、記念誌製作を委託するので本年度は資料の収集・構成を行い、27年度で記念誌を印刷する計画である。

問 定住促進対策事業の26年度の実績と、675万円の増額補正の内訳は。

答 今年の4月から10月までの実績は76件の取得に対し、定住取得祝い金585万円、商品券585万円を交付しており11月から3月までの申請を52件と見込み予算を計上している。

問 これまでの実績はいくらか。

答 平成24年度は106件で1530万円、平成25年度は91件で1420万円の実績である。

文教厚生常任委員会

(今鶴治信委員長)

所管事務調査

○恒吉小学校

昭和58年に結成された緑の少年団は、門松づくり、校区祭での募金活動、シイタケの駒打ち体験など活発な活動が行われている。

○菅牟田小学校

児童数7人、PTA戸数4戸の同校は、小規模校ゆえ多人数を前にした発表機会の不足に対して、地域行事の場で機会を創出している。ただき補っている。

○末吉中学校

心に届くあいさつ、身なりのよさは同校の誇りであり、その評価を聞きつけて都城市や鹿屋市からの入学生も見られるほどであります。また中学校統合後も新入生が円滑に中学校生活に溶け込めるよう生

徒会等により中学校生活、部活動等を紹介するDVDを制作し各小学校への学校紹介に利用していることは素晴らしい取り組みであった。

○高岡小学校

全国学力・学習状況調査において県の平均を上回る定着度を達成している。校庭のイチヨウの木に実る銀杏は、先生、児童全員で調製から袋詰め、販売に取り組み、児童会の活動費に充てている。

○光神小学校

学力の向上を課題としてとらえ、学校での授業を基本としつつ、家庭との連携による「早寝・早起き・朝ごはん」運動など生活習慣の確立を通じた学力向上に取り組んでいる。

○財部南小学校

同校は愛鳥モデル校として、校内に設置した巣箱の観察、校外の野鳥観察等の活動が認められ、平成25年日本鳥類連盟「奨励賞」をはじめ、過去にも数々の賞を受賞している。



野鳥観察用の巣箱

まとめ

新教育長のもと、学力向上対策、学校経営のあり方等に関する教育委員会の方針や独自性については、早い時期での表明を求める意見があった。また、児童数確保や学力向上のための取り組みについては、市内で成果をあげている例を参考にするなど各学校の横の連携も重要である。

☆平成26年度曾於市一般会計予算の補正(所管分)

問 放課後児童健全育成事業の増額の内容は。

答 末吉中央児童クラブは小学校3年生までを受け入れているが、児童福祉法の改正により来年度から6年生までが対象となり教室が不足することが予想されるため、曾於北部水利事業所において不要となるプレハブ建物の購入及び設置工事に要す

る費用の追加である。



児童クラブに使われるプレハブ

問 中学校スクールバス運行事業委託料として、平成27年度からの3年間にわたり、新たに中谷コースを含む1億5158万円を限度とする債務負担行為が設定されているのは。

答 中谷地区の生徒については、昭和45年の財部中学校と中谷中学校の統合以降、自転車通学または保護者による送迎により通学している。平成24年度の統合を機に運行が開始されたスクールバスの利用に係る要望に応えられなかつ

たが、諸事情を考慮して平成27年度から新たに中谷コースを新設する予定である。

意見 不公平の是正は評価するが、利用者が少数であることを考慮して、小型バスの利用や既存コースのルート変更による対応も検討すべきである。

☆平成26年度介護保険特別会計予算の補正

問 高額医療合算介護サービス費の1360万円の増額は。

答 世帯単位で医療費と介護費の1年間の自己負担が著しく高額になった場合に負担を軽減するものであり、実績見込みによるものである。

建設経済常任委員会

(八木秋博委員長)

☆都市が区域をこえて市道の路線廃止と新たな認定の承諾について

問 その内容と必要性は。

答 今回、都市市の道路台帳の整理にあたり引き続き都市が維持管理するために、旧財部町・末吉町において承諾した大塚172号線、弊次・踊橋線、狐塚中通線、有里・割田橋線、緩毛原南線等の8路線の一部をそれぞれ廃止する。

新たに蓑原、緩毛原、三枝、高岡口の4路線について再認定することを承諾するためのものである。逆に曾於市が区域をこえて市道認定している路線は9路線あり、建設省通達により曾於市においては現在改め

て路線の認定等手続きを行う必要はない。

☆平成26年度曾於市一般会計予算の補正(所管分)

問 市営住宅の空き家、空室の現状はどうなっているのか。

答 市営住宅については11月30日現在管理戸数1023戸、うち入居戸数881戸(入居率86・1%)、空室1

42戸、うち一般空室63戸、入居不可(政策空き家)79戸である。特に空き家が多いのは、川内団地17戸、正ヶ峯団地12戸、天神丘団地9戸、中須団地7戸である。

意見 市営住宅が効率よく活用されるよう広報紙や市ホームページ等で空き家、空室状況を幅広く周知していくよう努めるべきである。

問 曾於のうまいもんPR事業について、ふさと納税のお礼として

て加工品が大変な人気となっているが、その品質保持について今後の対応をどう考えているか。

答 確かな品質を保持できるような事業所であることはもちろん、安定的に品物を供給できる事業所であることも、選定基準の一つである。高度な情報化社会の中で悪評が一度たつと、その信頼回復にはかなりの困難を伴うことは十分に予想できる。事業所選定も含めて品質保持に関することについては、今後とも慎重に取り組んでいきたい。

問 今後、耕種部門についても取り入れていく考えがないか。

答 耕種部門については、取り組める品目がないか検討したい。

問 土壌診断事業の内容実績。その結果対応は。

答 曾於市有機センター敷地内にある土壌診断室において無料で行っており、近年甘藷畑の診断が増えており平成25年度392件、今年度はさらに増加している。

また、その診断処方箋に基づいて施肥改善を行い土づくりや環境保全型農業を進めている。

問 活動火山周辺地域防災営農対策事業補助金の現状と対象者選定はどのようになっているのか。

答 飼料用作物収穫調整用機械導入資金が主で、県補助金65%、組合(60歳未満3名以上で構成)35%で、本年度は6件の採択があった。

同事業での取り組みを希望されている方は準備が整い次第、順次事業導入のための手続きを進めている。



有里・割田橋線



土壌診断中

議会広報等調査特別委員会 研修報告 九日克典委員長

平成26年11月18日から20日にかけて、全国議会広報コンクールで受賞された京都府の南山城村議会、久御山町議会を研修いたしました。

南山城村は京都府唯一の村ではありますが、宇治茶の生産でたいへん有名なところであります。

議会だより作成に当たり、いかに手にとって読んでもらえるか一番の決め手は表紙の写真であり、読者の関心を引き付けることが大切であ



南山城村議会にて研修

ることを強調されていまして。

毎回100枚を超える写真を選び、その中から選定し、必ずデータ修正、加工を行うなど、完成度の高さに感心したところであります。

また久御山町は、1700あまりの事業所がある、税収豊かな地方交付税を受けない健全財政な町であります。広報紙の特徴として、表紙の「くみやま」の手書き



表紙フォトグランプリ受賞

題字を町内3小学校の1年生から公募し審査の上、採用された児童は裏表紙で紹介されます。親も先生も議会だよりに関心を持たれ、読んでもらえるという効果があります。

また、会派研修レポートは必ず掲載し、全国から来町「ようこそ久御山町へ」の見出しで視察研修に来られた市町村議会を紹介するページ等、豊富な内容のあるもので工夫されていまして。

今回の研修を機に、議会だより編集のなかで活かしてまいります。

地域に貢献 総務大臣より感謝状



徳峰 一成議員 (町議：26年2ヶ月、市議9年4ヶ月)

- 議員として在職35年以上在職し、地方自治の振興発展及び住民福祉の向上に尽くした功績を讃え総務大臣より感謝状が贈られました。



曾於市へようこそ



～市内の地域振興住宅へお住まいのご家族を紹介します～

福留さんご夫婦は、4年前に結婚され志布志市に住んでおられました。志布志市の郵便局に勤務されているご主人が、菅牟田の地域振興住宅に先輩が入居しているのを聞きこれがきっかけとなり申し込みされ、昨年の4月に菅牟田第2団地に入居されました。

ご主人は、「このような振興住宅制度があり非常に助かりました。入居と同時に地元消防団にも入りました。」また、奥さんは、「小学校が近く、校区の皆さんが子供たちに声をかけていただき、とても助かっています。」と話しておられました。

福留 ^{ひろゆき}浩幸さん (32歳)
^{きよこ}恭子さん (29歳)
^{まゆ}真結ちゃん (3歳)
^{みゆ}実結ちゃん (1歳)

(上村)



1月18日に財部の城山運動公園周辺で駅伝大会がありました。遠くは薩摩川内市や志布志の職場チーム、女性だけのチームなど多彩な顔ぶれが健脚を競いました。声援を送る人で沿道はいっぱいでした。中継点前では最後の力をふりしぼり、全力でタスキを次の選手に渡しています。走り終えた選手は苦しそうですが、その顔は達成感にあふれています。全力で走る仲間チームみんなで応援する姿がとても感動的でした。(宮迫)



表紙によせて

編集後記

12月議会が終わり年越しの編集作業となりました。昨年は、読みやすく分かりやすい紙面作りができるように様々な研修を重ねてきました。今回から少しずつ変わっていくと思います。

この市議会だよりは市議会活動のようすを市民の皆様に伝える最大の手段であります。市民の皆様と共に議会を進めるための、読みやすく分かりやすい紙面作りに今後もつとめてまいります。

最後になりますが、市民の皆様にとって今年1年が良い年になりますようにお祈りいたします。

(上村)



議長	谷口 義則	副議長	上村 龍生	委員長	九日 克典
委員	今鶴 治信	委員	宮迫 勝	委員	泊ヶ山 正文
委員	宮迫 勝	委員	泊ヶ山 正文	委員	上村 龍生
委員	今鶴 治信	委員	宮迫 勝	委員	泊ヶ山 正文

議会広報等調査 特別委員会



●議会をライブ中継しています!●

曾於市議会では、インターネットによるライブ中継と録画放送を行っております。

映像は曾於市のホームページより、「議会映像配信」のボタンをクリックしてお入りください。

<http://www.soo-city.stream.jfit.co.jp/>